

「性別による固定的な役割分担意識をなくそう いわて宣言」

国土交通省の「企業等の東京一極集中に関する懇談会とりまとめ」によると、考えられる東京一極集中の要因の一つとして、生まれ育った地元の不便さや閉塞感を挙げ、女性を中心にこれを感じる人も一定数存在し、更に、東京圏に流入した女性はそれ以外の女性に比べ、地元には「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という意識を持っている人が多いと考えている人の割合が高いことが指摘されている。

本県においても人口減少に歯止めをかけ、地域社会が持続的に発展していくためには、あらゆる分野に女性が参画でき、能力を発揮できる社会を形成することが必要である。

私たちは、一人ひとりが尊重され、誰もが参画できる社会の実現を目指し、「住みたい、働きたい、帰りたい」と思える岩手をつくるため、性別による固定的な役割分担意識を岩手からなくしていくことを宣言します。

令和3年2月15日

いわて女性の活躍促進連携会議（※1）

いわてで働こう推進協議会（※2）

※1 県内の女性の活躍を促進することによって復興の加速化を進め、地域経済活性化に寄与することを目的として、県内の経済団体、産業団体、国等の関係団体と県が一体となって、平成26年5月に設置。会長は知事。

※2 若者や女性の県内就業を促進するため、県内の経済団体、産業団体、教育機関、金融機関、労働機関など関係団体が集結して、平成28年2月に設置。会長は知事。

国立大学法人 岩手大学



【賛同メッセージ】

岩手大学は、性別、年代、国籍、性のあり方において多様性をもつ学生、教職員の構成員が学びやすく、働きやすい環境づくりに取り組んできました。これからも地域に開かれた大学として、性別によって夢や希望をあきらめることのない、ジェンダー平等社会の実現に向けて、より一層の努力をしてまいります。

宮城建設株式会社



【賛同メッセージ】

宮城建設株式会社は、「我が社に関わるすべての人々が幸せになる会社をつくりそれを通じて社会に貢献する」の経営理念のもと性別による固定的な役割分担意識をなくすため、女性の活躍推進や男性の育休取得の働きかけ等、働きがいを感じる職場環境に取り組んでいます。